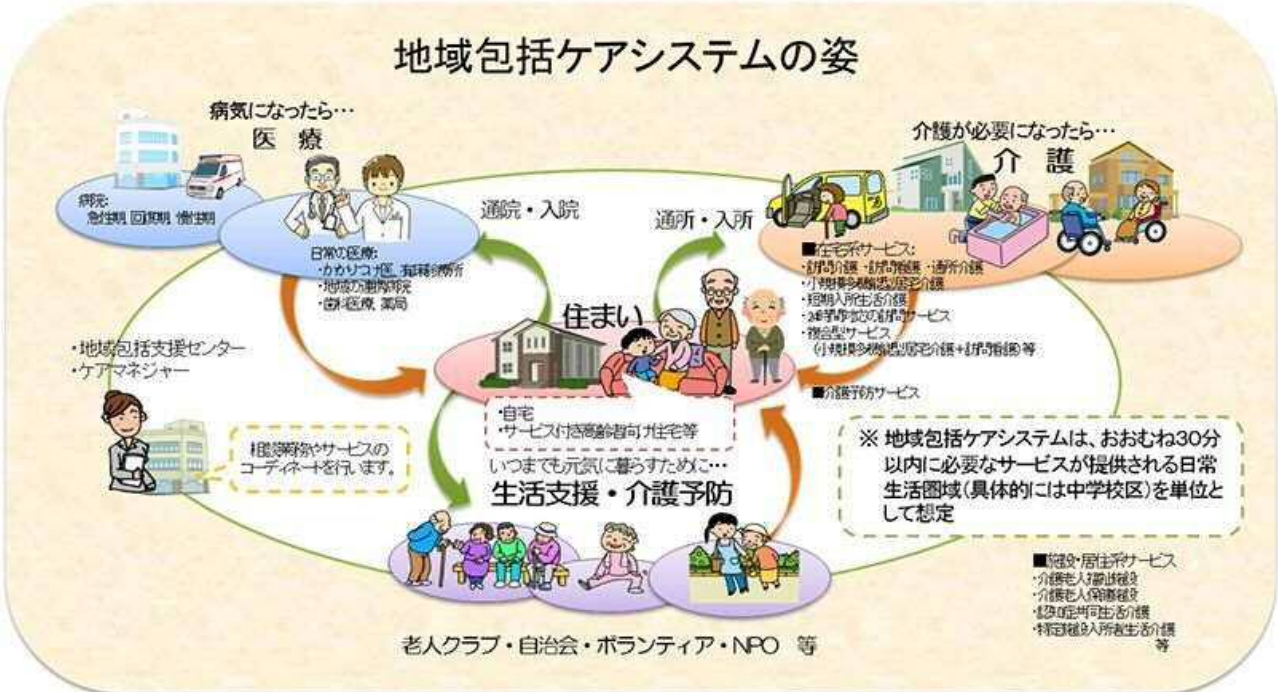


# 在宅医療・介護連携推進事業 について

(退院調整ルール策定事業)

## 1 退院調整ルールとは

病院と在宅等の中で患者が円滑に入・退院できるよう、介護保険の適用が考えられる患者等の情報をもれなくケアマネジャーにつなぐことができるシステム。

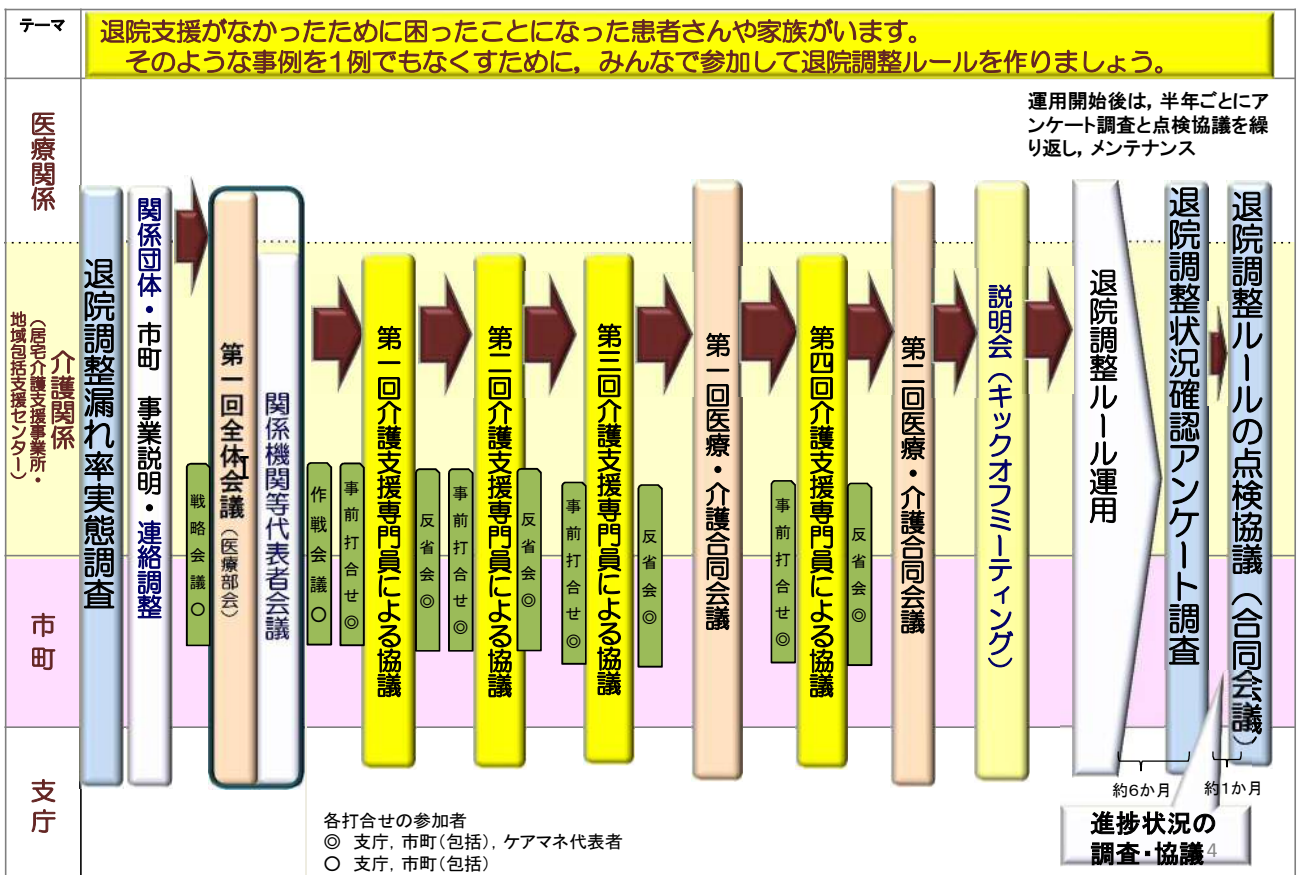


## 2 退院調整ルール策定の目的

- ① 重度な要介護状態となっても、自分らしい暮らしを、住み慣れた地域で続けることができるよう、その地域の実情に合った地域包括ケアシステムの構築が求められている。
- ② 病院と在宅支援専門員の連携（退院調整）は、在宅での療養生活が必要となる患者・利用者が療養生活を継続する上で重要である。
- ③ 退院調整ルール策定の組織化の過程、また、協議の過程において、必要な連携体制やネットワークが構築され、日常的に在宅医療・介護連携が図られるようになる。
- ④ 退院調整ルールを策定し運用することで、患者がシームレスなサービスの提供を受けることができるようになり、できる限り住み慣れた地域で生活を継続したいという希望を実現することができる。

3

### 退院調整ルール策定スケジュール



## 種子島地域での検討状況

時期	内容
H29年11月	<b>【第1回全体会議, 関係機関等代表者会議】</b> ・島内の病院, 有床診療所の退院調整担当者, 居宅ケアマネ等を対象に種子島の退院調整の現状や事業の概要を説明。 →会議終了後, 出席いただいた医療機関(4病院)へ「参加意向調査」を実施し, 4病院より参加意向が示された。
H30年1月	<b>【第1回ケアマネ協議】</b> ・島内の居宅ケアマネと地域包括支援センター職員で, 退院支援について「うまくいった事例」と「うまくいかなかった事例」を出し合いながら, 課題について意見交換した。
H30年3月	<b>【第2回ケアマネ協議】</b> ・島内の居宅ケアマネと地域包括支援センター職員で, 退院調整を円滑に行うために工夫することについて, ルール(案)に盛り込みたい内容について意見交換した。
H30年6月	<b>【第3回ケアマネ協議】</b> ・ルール(案), 入院時情報提供書(案)について協議。 ・第1回医療・介護合同会議で医療機関に伝えたい事項についてケアマネの意見をまとめた。
H30年7月	<b>【第1回医療・介護合同会議】</b> ・ルール(案)について, 医療機関(看護部, リハ部, 地域連携室)と居宅ケアマネで意見交換した。
H30年8月	<b>【第4回ケアマネ協議】</b> ・第1回医療・介護合同会議で出された意見をもとに, ルール(案)を見直しを行った。
H30年9月	<b>【第2回医療・介護合同会議】</b> ・ルール(案)について, 医療機関(看護部, リハ部, 地域連携室)と居宅ケアマネで意見交換し, 合意が得られた。
H30年10月 予定	<b>【キックオフミーティング(説明会)】</b> ・ルールの運用開始予定。

## 屋久島地域での検討状況

時期	内容
H29年12月	<b>【実態調査の依頼, 実態調査の実施】</b> ・ケアマネ協議会にアンケート調査依頼を行った。 ・平成29年10～11月の退院調整の状況について調査を実施した。
H30年1月	<b>【ケアマネ協議会に説明】</b> ・ケアマネ協議会に調査結果(速報値)について簡単な説明を行った。説明時間を確保してもらえず, 事業概要について十分な説明が実施できず。
H30年3月	<b>【医療機関への聞き取り】</b> ・アンケート結果を受けて病院関係者に在宅医療・介護連携に関する院内体制について聞き取りを行った。
H30年6月	<b>【町との協議】</b> ・町と調査結果について共有し, 事業の進め方について検討した。
H30年7月	<b>【病院・ケアマネ協議会に事業説明】</b> ・ケアマネ協議会に事業概要と調査結果を説明し, 退院調整ルール策定・運用を30年度中に行うことを確認した。 ・医療機関に事業概要と調査結果を説明し, 医療機関(1病院)に参加意向を確認した。併せてルール策定・運用を30年度中に行うことを確認した。
H30年8月	<b>【第1回ケアマネ協議】</b> ・ケアマネ定例会で, 策定スケジュール, 進め方等について協議した。
H30年9月	<b>【第2回ケアマネ協議】</b> ・ケアマネ定例会で, ルール案等について協議した。

# 平成30年度における熊毛支庁独自の介護等人材確保に向けた取組について

## 1 平成30年度介護人材確保対策についての意見交換会（5/22）

### (1) 概要

- ① 平成30年度県事業の説明
- ② 平成29・30年度熊毛支庁独自の取組，平成30年度地域振興推進事業の説明
- ③ イメージアップソングの紹介
- ④ 先進事例の紹介（ALIVE屋久島）
- ⑤ 熊毛地域で必要な介護人材確保対策に係る意見交換（県事業・熊毛支庁独自取組に対する意見等）→ 必要な事業があれば県に提案

### (2) 参加者

熊毛地域の介護・障害施設・事業所，市町の33名

## 2 若手介護職員の意見交換会

- 屋久島（6/20） →
  - ① 平成29・30年度熊毛支庁独自の取組説明
  - ② イメージアップソングの紹介
  - ③ ALIVE屋久島の取組紹介
  - ④ 先進事例の紹介（霧島市ライフサポートワーカー）
  - ⑤ 「介護職って〇〇する仕事！？」について考えよう
  - ⑥ 熊毛地域で必要な介護人材確保対策に係る意見交換（熊毛支庁独自取組等に対する意見等）
  
- 種子島（7/18） →
  - ① 平成29・30年度熊毛支庁独自の取組説明
  - ② タネガシマンDVD試作作品の視聴
  - ③ 先進事例の紹介（社会福祉法人旭生会）
  - ④ 「介護職って〇〇する仕事！？」について考えよう
  - ⑤ 熊毛地域で必要な介護人材確保対策に係る意見交換（熊毛支庁独自取組等に対する意見等）
  
- 参加者  
介護・障害施設・事業所の介護職員，市町職員等  
屋久島：24名      種子島：32名

## 3 タネガシマンDVD，イメージアップソングを活用した介護職のイメージアップの取組（通年）

### （共通）

マスコミ各社への送付，県フェイスブック・各種会議・県介護ふれあいフェスタでの紹介，介護実習・普及センターでの紹介，関係団体・島内各施設・事業所でのイベント等での紹介，厚生労働省・九州厚生局担当課への送付等

### （DVD）

種子島島内の各小学校・保育所等への送付 等

4 平成30年度地域振興推進事業（「種子島でサーフィンを楽しみながら“ケア★スタ”しよう〜！」PR事業）の実施 ★ 別添資料1

5 熊毛地域福祉フェスタ（仮称）の開催（検討中）

★ 別添資料2

6 ノーリフトケアの普及

※ 熊毛地区老人福祉施設協議会が合同研修会での実施を予定

7 ALIVE屋久島の活動支援

○ 研修会等の開催支援（6/20 霧島市ライフサポートワーカーとの意見交換等）

平成30年度地域振興推進事業

「種子島でサーフィンを楽しみながら“ケア★スタ”しよう～！」PR事業

1 背景

- ・ 平成30年度には、種子島でサーフィンをしながらか、介護職をやる主人公にスポットを当てた映画「ライフ・オンザ・ロングボード2」が制作され、平成31年春に公開される予定である。
- ・ また、平成29年9月には、日本プロサーフィンツアー2017「サーフアイランド種子島プロ」が開催され、サーフィンの聖地としての種子島が再度クローズアップされた。(平成31年までの3年間開催予定)
- ・ 一方、種子島の介護等施設・事業所、医療機関については、離島という特性から、本土以上に介護人材や医療従事者等をいかに確保していくかが深刻な課題となっている。

2 目的

標記のキャッチフレーズで、サーフィンの聖地としての種子島の情報発信を図るとともに、介護人材や医療従事者等の確保を図る。

3 概要

- ・ サーフィンのできる場所及び介護施設・事業所、障害施設・事業所、医療機関等を併せて紹介するパンフレット等を作成する。
- ・ 「サーフィンのできる場所」については、位置、アクセス方法(駐車場の位置、駐車可能台数等)、写真、各種施設のほか、波質(トンネル状の波が来るか等)、海底の砂質(砂かリーフか等)、初心者向け・中級者向け・上級者向け等の情報、その場所についての地元サーファーの声などを掲載する。
- ・ 「介護施設・事業所、医療機関等」については、位置、写真、定員(ベッド数)、職員数、勤務体系、待遇、職員によるアピールポイントなどを掲載する。
- ・ また、県HPに掲載するとともに、各施設・事業所や医療機関のHP、移住に関する情報サイトともリンクを張り、情報を提供する。
- ・ パンフレット、チラシには、HPのURLをQRコードで掲載し、HPに誘導する。
- ・ 福祉職場面接会、Iターン・Uターン向け就職・移住説明会、映画上映時(今後、要協議)等にパンフレットやチラシを配布し、効果的な情報発信を行う。

4 事業主体

県、種子島地区の市町、介護施設・事業所、障害施設・事業所、医療機関等の実行委員会方式

5 概算経費

約184万円 うち県費 70万円

(取材費、パンフレット10,000部・チラシ30,000部作成費 等)

パンフレット → A4版で28ページ程度を想定

チラシ → A3版で四つ折りA5仕上げを想定

## 熊毛地域福祉フェスタ(仮称)の開催について(案)

### 1 目 的

熊毛地域の介護・障害・児童関係の福祉施設・事業所，関係団体・機関，行政が連携し，利用者の思いに寄り添ったケアを行うための取組事例等を紹介することにより，介護職等の福祉人材のイメージアップや人材確保を図る。

### 2 開催日時

平成31年2月17日(日) 10:00～16:00(仮)

### 3 開催場所

西之表市民会館(大ホール，会議室等)

### 4 対 象

一般住民，介護・障害・児童福祉施設・事業所関係者，関係団体・機関関係者，行政関係者 等

### 5 概 要

#### (1) 参画対象

次の施設・事業所等のうち，参画を希望する施設・事業所，団体・機関等

- ① 熊毛地域の介護・障害・児童関係の福祉施設・事業所
- ② 熊毛地区身体障害者協会，熊毛地区手をつなぐ育成会，種子島地区精神障害者家族会「種子島会」，児童発達支援センターすまいるキッズ保護者会等の関係団体
- ③ その他，種子島地区自立支援協議会，屋久島町自立支援協議会の構成施設・団体・機関等

#### (2) 実施方法

- 「(1)」のうち，参画を希望する施設等による実行委員会方式  
ただし，実行委員会への負担金等は徴収しない。
- 熊毛支庁としての既定予算等はないため，ゼロ予算事業として実施。  
したがって，展示ブース等の設営等は，市民会館のついでに，机等を活用し，参加施設等が全て自前で行う。
- 実行委員会の開催，当日の大ホールにおける催し物の司会進行・進行管理，プログラムの作成等は，熊毛支庁が行う。

#### (3) 想定されるプログラム内容等

- ① 介護・障害・児童関係の福祉施設・事業所が利用者の思いに寄り添ったケア等を行うために工夫している取組事例の紹介(1事例10分以内)
- ② 一般来場者(施設関係者を除く)による，①の中で心に残った最優秀取組の投票・表彰
- ③ ケア☆スターによるDVDの前説，離島閃隊タネガシマン「くまげ介護士ケア☆スター」のDVD上映
- ④ 岩切さんの「Counting out song」のDVD上映
- ⑤ 家庭でのオムツ交換・洗髪・清拭・食事介助等具体的な介護のやり方についての講座
- ⑥ 施設・事業所利用者による演しもの
- ⑦ 各展示ブースによる施設・事業所，団体・機関等の取組の紹介 等

# タネガシマン & ケア☆スターくまげ

か い ご

## 介護PRビデオ

さつえい かいちょう

### 撮影快調！

手作り！

介護のことを知ってもらうために介護PRビデオを制作中！

完成したら各学校や関係各機関に配布予定！

10月完成予定！ お楽しみに！



こんど  
今度のヒーローは、  
介護のヒーロー！  
この新ヒーローは、  
何と戦っているのか？  
刮目して、  
完成を待て！



ドンも出しちえ  
くれんちゅう？

地域介護士  
ケア☆スター  
くまげ！